

いわれなき差別や偏見なくして 小学低学年向けに啓発漫画本

認定NPOみらいプラネット製作



啓発本を手にする有富理事長（左）と作画担当の磯村明池（あい）さん

いわれなき差別や偏見を受けて苦しむ社会的弱者への理解や関心を深めてもらおうと、認定NPO法人みらいプラネット（新橋町）は、漫画を用いた小学校低学年向けの人権学習啓発図書を発刊した。

自身も難病患者である有富理事長の闘病体験を基に、会員が脚本・作画などを担当した。漫画は、目が見にくくなる難病にかかった女子児童が、症状が外見ではわからないために学校でいじめに遭うが、さまざまな障害者と出会うことで前向きになり、周囲の理解も広がっていくという内容だ。保護者向けに、有富理事長や会員たちが偏見などの二次被害に苦しんだ経験談をつづったページもある。

啓発本を村岡知事（左）に手渡す有富理事長（右）。中央は立ち会った島田教明県議



B5判、122ページ。学校教育や社会人研修などで役立ててもらおうと、有富理事長らが18日、県庁と県教委を訪れ、計500冊を寄贈した。今後、県内の小学校や特別支援学校、図書館などに書籍を手にし

た村岡副知事は「幼いうちから学ぶ工夫がされている。いわれない差別をなくすために活用したい」と話した。

同法人は、一部難病に指定されている難治性血管奇形への理解を広めようと2012年に発足。今年2月に認定NPO法人になった。16年には、有富理事長の体験を原作にした書籍と学習教材用DVDを製作した。児童・生徒向けのDVDを全国の教育委員会を通じて配布する中で、低学年向けの分かりやすい教材を求める声が上がったという。寄付金などを活用し、DVDの「続編」として漫画を約2年かけて完成させた。

有富理事長は「一番怖いのは無知。多くの人に読んでもらって、先入観や偏見による差別について考えるきっかけにしてほしい。企業等での人権学習でも活用してもらえれば」と話している。

希望者には無償で配布する。問い合わせは、同法人（電話22-3112）まで。（吉野敦裕）

ほうふ日報
令和2年3月26日

難病への偏見なくして みらいプラネットが啓発図書寄贈



難治性疾患の啓発などに取組むNPO法人「みらいプラネット」(有富健一 理事長)は18日、難病への理解を深めてもらうために制作した人権学習啓

オリジナルの人権学習啓発図書を手に笑顔を見せる有富理事長(左、県庁で)

発図書「ひとつぼしー咲き誇れ、強くNext Season」を、県と県教育委員会に寄贈した。

県庁を訪れた有富理事長は「笑顔あふれる共生社会への一助になれば」と、村岡嗣政知事に同書を手渡した。村岡知事は「思わず手に取って読みたいくなるような本。幅広く活用させていただきたい」と感謝を述べた。

病気といじめをモチーフにした漫画を中心に構成。難治性血管奇形を発症し、病気に対する周囲の無理解に苦しんだ有富理事長の体験を基にしている。同法人の会員が脚本や作画を手掛け、2年がかりで制作。小学校低学年向けに分かりやすさを重視し、難病以外の差別や偏見に対する人権教育にも活用できるように工夫した。

A4サイズで全122ページ。制作費は寄付金などで賄った。県には職員の研究用などに50冊、県教委には小学校や図書館、特別支援学校初等部への配布用に450冊を贈った。企業などからも希望があれば無償で提供する。問い合わせは同法人(電話0835-22-3112)へ。(重岡)

宇部日報
令和2年3月23日

難病患者差別なくそう

防府のNPOが啓発図書製作

漫画を通じ難病患者らへの差別をなくそうと、認定NPO法人みらいプラネット（防府市）は、小学校低学年向けの啓発図書「ひとつぼし」を作った。有富健理事長の体験が原作で、人権学習教材として学校や図書館に配るほか、社会人の研修にも役立ててもらおう。

主人公は突然目の難病にかかった女子児童。症状が外見では分からずいじめを受けるが、障害のある人たちとの出会いをきっかけに前向きになり、周囲の理解も広がるという物語で、「当たり前前にできることができない人もいる」と思いやりの大切さを説く。

同法人は血管が変形する難病「難治性血管奇形」の啓発や患者の支援を行い、2016年には学習教材用のDVDや書籍も作った。幼い頃から難病に限らず人権に関心を持ってもらうため漫画作りを企画し、会員が作画や脚本を手掛けた。

県内の小学校や特別支援学校、公立図書館などに500冊を贈るため、有富理事長が県庁を訪問。受け取った村岡嗣政知事は「いわれのない差別を



啓発図書を作ったみらいプラネットの有富健理事長（左）と作画を担当した磯村明池さん＝県庁

社会全体でなくせるよう活用したい」と述べた。有富理事長自身も難病患者で、周囲の差別や偏見といった2次被害に苦しんだという。「一番怖いのは無知。楽しく読んでもらい、人の痛みを分かかってほしい」と話している。

A4判122ページで、有富理事長の体験や法人に寄せられた患者の闘病記も掲載。希望者に無償で提供する。問い合わせは同法人（電話0835・22・3112）へ。（岩崎新）

ほうふ日報

令和2年4月3日



認定NPO法人みらいプラネット（新橋町・有富健理事長）は3月27日、小学校低学年向けに漫画

一枚の写真 啓発図書を市へ

を用いた人権啓発図書「ひとつぼし」（本紙同26日付2面掲載）50冊を市に寄贈した。写真：池田豊市長は「私自身を含め、職員や市民への人権啓発の場で活用したい」とお礼を述べた。

（吉野敦裕）

サンデー西京

令和2年4月4日



難病への理解呼び掛け

みらいプラネットが啓発図書

難治性疾患の啓発などに取組むNPO法人みらいプラネット（有富理事長）は、難病への理解を深めてもらうために制作した人権学習啓発図書「ひとつぼし〜咲き誇れ、強くNext Sea son」を、県と県教育委員会に寄贈した。病氣といじめをモチーフにした漫画を中心に構成。難治性血管奇形を発症し、病氣に対する周囲の無理解に苦しんだ有富理事長の体験を基にしている。同人（☎0835-223112）へ。

法人の会員が脚本や作画を手掛け、2年がかりで制作。小学校低学年向けに分かりやすさを重視し、難病以外の差別や偏見に対する人権教育にも活用できるように工夫した。

A4サイズで全122ページ。制作費は寄付金などで賄った。県には職員研修などに50冊、県教委には小学校や図書館、特別支援学校初等部への配布用に450冊を贈った。企業などからも希望があれば無償で提供する。

有富理事長は「笑顔あふれる共生社会への一助になれば」と話した。問い合わせは同人（☎0835-223112）へ。

差別やいじめ撲滅へ

みらいプラネット 漫画本製作 寄贈

「難治性血管奇形」という血管が変形する病気の啓発活動や、患者の生



〈防府市役所で行われた贈呈式〉

活支援事業を行っている防府市新橋町の認定NPO法人みらいプラネット（有富理事長）は、防府市に人権啓発図書「ひとつぼし〜咲き誇れ、強くNext Sea son」50冊を贈った。同図書は、難治性血管奇形患者である有富理事長の実体験を基に制作した小学生向けの漫画本。第1部は、目の病気に冒された女の子を通して、差別やいじめをなくすことを訴えた物語を掲載。第2部は、同団体に寄せられた患者たちの闘病記や体験談などを収めている。

作画は会員の磯村明池さん。B5判。122頁。贈呈式では、有富理事長が「職員への人権研修

用や小学校での人間教育の一助にしていただきたい」と、池田豊市長に同図書を手渡した。

防日新聞

令和2年4月7日

▶政経・産業・行政・教育・芸文の情報誌!

令和2年4月15日発行(創刊昭和33年)通巻721号
昭和61年8月29日第三種郵便物認可(毎月15日発行)

月刊

Opinion Monthly

For Japan

日本新報

特集

小松一彦副知事就任

駐日本国ベナン共和国アデチュブ大使が前田下関市長訪問

新芸術文化の群像、会員紹介(48)…大池恵(洋画)

5

350YEN 2020
旧月刊 西日本



知事部局、教育委員会、警察本部人事異動
山口きらら博記念公園多目的ドーム命名権協定締結調印式

(一社)日本地方新聞協会加盟
山口県地方新聞協会加盟
山口県政滝町記者クラブ加盟
下関市政記者会加盟

人権学習啓発図書を

村岡知事へ贈呈

小学校や図書館にも配布

認定NPO法人みらいプラネット（有富理事長）は、小学生低学年向けに漫画を主とした人権学習啓発図書「ひとつぼしく咲き誇れ、強くNext Season」を製作し、3月18日に村岡副知事に趣旨を説明するため県庁を訪

問した。

有富理事長が「一番恐いのは無知。楽しく読んでもらい、人の痛みに分かる人になってほしいという思いから、今回作成しました」と語り、村岡知事に本を手渡した。村岡知事は「いわれない差別を

社会全体でなくせるように活用していきたい」と述べた。

今回の本は、職員への人権研修や、小学校や図書館等に配布し学習教材として活用して、人間教育の一助にしてほしいとの思いで配布する。



▶村岡知事（左）に本を手渡す有富理事長（右）



▶趣旨を説明する有富理事長（中央）



▶本をはさんで村岡知事（左）、有富理事長、島田県議会議員



▶記念撮影



▶インタビューを受ける有富理事長（左）と作画を担当した磯村さん

◆ひとつぼし〜咲き誇れ、強く〜

難病患者への理解と人権擁護の啓発に取り組む「ひとつぼし〜咲き誇れ、強く〜」認定NPO法人みらいプラネット（山口県防府市、代表理事は、人権学習啓発図書「ひとつぼし〜咲き誇れ、強く〜」(A4判1冊)を制作した。小学



人権学習啓発図書「ひとつぼし」を手にするみらいプラネット・有富健理事長と作画の磯村明池さん

3月18日、山口県庁に村岡副政知事と浅原司教育長を訪問。県内の小学校や図書館、特別支援学校に500冊を贈った。本書の主人公は、目の難病を患う小学3年生の女子。学校でいじめや差別を受けるが、親友や担任の先生、障がい者との出会いにより前向きに生きる。その後24歳で完全失明するが自身の新境地を見出していく物語。見た目だけでは人の辛さや痛みは理解できないことや人を思いやる心前向きであきらめない気持ちの大切さを説く。原作は有富理事長で、自身が難病「難治性血管奇形」を抱え無理解や偏見、差別などで苦しんできた体験がベース。2016年には学習教材用DVDと書籍「負けるものか!」を出版、8都道府

県に配布した。今回は小学校低学年にも理解しやすい漫画図書を企画。「難治性血管奇形」だけに特化せず、社会的弱者への理由なき偏見や差別をなくすことを小学生の時から学んでほしいと、作画編集、脚本などを同会員が2年がかりで手掛けた。「人の痛みを理解できる社会、笑顔あふれる共生社会の一助になれば」と有富理事長。希望があれば中学・高校や企業研修用としても無償提供する。(08035・22・3112)

人権学習へ啓発漫画

防府のNPO法人

漫画を通じ、差別や偏見、いじめなどに苦しむ人々への理解を深めてもらおうと、防府市のNPO法人「みらいプラネット」が啓発図書「ひとつぼし」を刊行した。初版1000冊のうち、550冊を県内の小学校や特別支援学校、図書館に寄付し、人権学習や社会人向けの研修などに役立ててもらおう。

図書に収録した漫画は、目が見えなくなる難病にかかり、いじめを受けた女子児童が、前向きに生きる障害者らと出会い、周囲の理

解も次第に深まるといふストーリー。難病患者でもある同法人の有富健理事長が経験した闘病生活などを基に、会員の磯村明池さんが作画を担当した。

同法人は血管が変形する難病「難治性血管奇形」への理解を深めてもらおうと、2012年に発足。近年は、難病患者だけでなく社会的弱者の人権擁護や、子どもの健全育成など幅広く活動している。

有富理事長は「差別や偏見は多くの人を苦しめるが、一番怖いのは無知。楽しみながら読んでもらい、人の痛みを理解してほしい」と話す。

図書はB5判122ページ。希望者には無償で提供する。問い合わせは同法人(08035・22・3112)へ。



啓発図書「ひとつぼし」を手にする有富理事長(右)と磯村さん